

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？



もしものときのために 「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

11月30日（いい看取り・看取られ）は人生会議の日

話し合いの進めかた（例）

誰でも、いつでも、
命に関わる大きな病気やケガをする
可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、
**約70%の方が、
医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることが、
できなくなると言われています。**

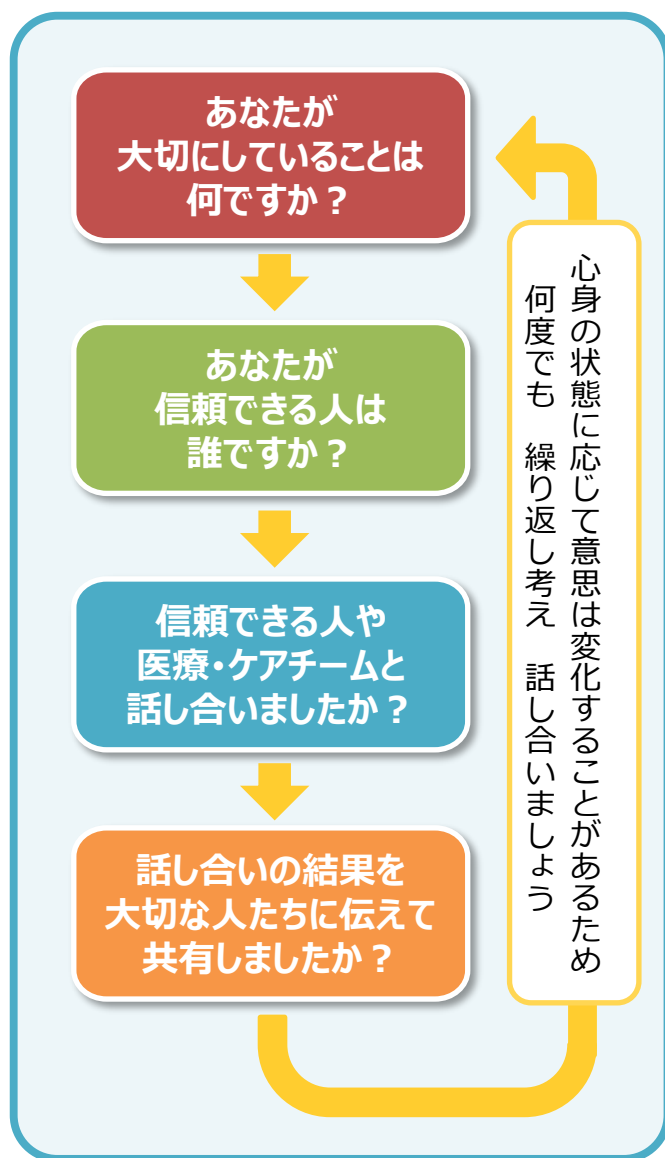
自らが希望する医療やケアを受けるために
大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むかを
自分自身で前もって考え、
周囲の信頼する人たちと話し合い、
共有することが重要です。



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を

「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」
と呼びます。

あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。



このような取組は、個人の主体的な
行いによって考え、進めるものです。
知りたくない、考えたくない方への
十分な配慮が必要です。



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



「人生会議」って？

自分が望む医療やケアを受けるために、自分が大切にしていることや望んでいること、どのような医療やケアを受けたいかについて、前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有していくこと。

こういう取り組みを **ACP** (アドバンス・ケア・プランニング) と言い、厚生労働省のガイドラインにも盛り込まれるようになりました。ACPの愛称が「人生会議」です。

だれしも、いつでも命にかかわる

大きな病気やケガをする可能性が

あります。年齢にかかわらず、脳の

機能の障害や認知症がおきること

もありえます。その時、自分がど

うしてほしいか、どのような医療を

望むのか、自分らしく考え、はつき

りと人に伝えることができないう

状態になるかもしれません。そうな

ら、あなたに代わって尋ねられる

のは誰でしょう…？

奥さん・ご主人？お子さん？ご

きょうだい？あるいはもう少し遠い

お身内やご友人でしょうか？

あなたの命にかかわる選択に直

面した方は、とても悩みます。そ

の時「あなたがどう考え、どんなこ

とを大切にしていたか」、「望むこ

とやしてほしいくないことはなにか」

等をすでに色々と聞いていたので

あれば、それをもとにして、医療

チームと話し合い、最善の方針を

決めやすくなります。

病院にかかれば「すべて先生にお

任せします」で方針が決まる時代

ではなくなりました。あなたの病

気について、どういう検査をして、

どう治療するのか、それとも治療

しないのか。医師や医療スタッフ

からは詳しく説明や提案をします

が、絶対の正解はありません。

〇〇病院でも
みてもらって、
よく説明をきいて
決めたい

できる限り
住み慣れた家で
過ごしたい

手術して
また食事が
とれるように
なりたい

すべて、あなたの大切な意思であり、言葉に出して伝えていただきたいことです。医療やケアは、あなたのこうした本音をもとに、あなたが大切な周りの人とともに、一つずつ選択しながら進めていかなければなりません。あなたの大切な意思や気持ち、あるいは相談したいこと、迷っていること、あなたの大切な人と一緒に話して、医療チームにも伝えてみませんか？

食べられなく
なってからの
延命治療は
結構です

治らないのであれば、
検査もやりたくない

これ以上薬は
飲みたくない



「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会」修了者

- 緩和ケア外科部長・緩和医療認定医
- 消化器外科医長・日本外科学会専門医
- 医師
- がん性疼痛看護認定看護師
- 愛生複合型サービスセンター平安通 愛生訪問看護ステーション平安通 管理者
- 病棟看護師・終末期ケア専門士
- 医療ソーシャルワーカー
- 医療ソーシャルワーカー
- 公認心理師

お問合わせ

総合上飯田第一病院 (052) 991-3111

当院に通院中の患者・ご家族
さまは、お近くの外来・病棟
看護師へ「緩和ケアの相談」
とお声かけください。

- 岡島 明子
- 杉浦 友則
- 長谷川 弘昇
- 佐藤 真嗣
- 石原 友美

- 福田 有梨
- 岩下 拓生
- 荒川 恵理
- 清水 智子